

生化学的検査



蛋白・含窒素成分

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
2019	総蛋白 3A010-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	Biuret法	6.5~8.1 g/dL		【高値】炎症性疾患・多発性骨髄腫 脱水症・自己免疫性疾患 【低値】栄養不良・肝硬変・肝炎・腎炎
2020	アルブミン 3A015-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	BCP改良法	3.8~5.2 g/dL		【高値】炎症性疾患・多発性骨髄腫 脱水症 【低値】栄養不良・重症肝疾患 ネフローゼ症候群
2030	蛋白分画	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	18 生化I*	セルロース アセテート膜 電気泳動法	成人 アルブミン 61.2 ~ 71.6% α1グロブリン 1.8 ~ 3.1% α2グロブリン 5.2 ~ 10.0% βグロブリン 6.2 ~ 11.2% γグロブリン 10.8 ~ 20.6% A/G 1.59 ~ 2.57		・アルブミン 【高値】脱水症 【低値】栄養不良・肝疾患 ・α1 【高値】炎症(急性・慢性) 【低値】肝障害・肝硬変 ・α2 【高値】炎症疾患・肝疾患 ネフローゼ症候群 【低値】悪性腫瘍・肝疾患 ・β 【高値】妊娠・腎不全・脂質異常症 【低値】肝疾患・ネフローゼ症候群 ・γ 【高値】肝硬変・マクログロブリン血症 感染症(急性・慢性) 【低値】白血病・蛋白喪失性疾患
2211		尿 30	10	冷蔵	2~4	18 生化I*	セルロースアセテート膜 電気泳動法 限外ろ過濃縮法	%		
2208		3A020-0000-023-232 3A020-0000-001-232 3A020-0000-040-232	採取液 5	35	冷蔵	2~4	18 生化I*	セルロースアセテート膜 電気泳動法 限外ろ過濃縮法	%	
2016	尿素窒素 (BUN・UN)	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	酵素法 (ウレアゼ・ GLDH法)	8.0~22.0 mg/dL		【高値】腎機能障害 心不全・高蛋白食 【低値】低蛋白食 肝不全・多尿・妊娠
2126		3C025-0000-023-272 3C025-0000-004-272	蓄尿 2		6	1~3		11 生化I*	6.0~18.0 g/day	24時間蓄尿し尿量を記入 してください。
2017	尿酸(UA)	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	酵素法	7.0以下 mg/dL	下記参照	【高値】痛風・尿酸血症・腎疾患 【低値】肝疾患・糸球体腎炎(腎不全) キサンチン血症
2127		3C020-0000-023-271 3C020-0000-004-271	蓄尿 2		6	1~3		11 生化I*	0.40~1.00 g/day	24時間蓄尿し尿量を記入 してください。
2018	クレアチニン	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	酵素法	男 0.61~1.04 女 0.47~0.79 mg/dL		【高値】うっ血性心不全 糸球体腎炎・腎不全 【低値】尿崩症・筋ジストロフィー
2129		3C015-0000-023-271 3C015-0000-004-271	蓄尿 2		6	1~3		11 生化I*	0.70~1.70 g/day	24時間蓄尿し尿量を記入 してください。
2056	クレアチン	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	11 生化I*	酵素法	0.3~1.2 mg/dL		【高値】筋ジストロフィー・多発性筋炎 甲状腺機能亢進症・クッシング症候群 【低値】甲状腺機能低下症・肝硬変 ・蛋白制限
2128		3C010-0000-023-271 3C010-0000-004-271	蓄尿 2		6	3~5		11 生化I*	男 170以下 女 290以下 mg/day	24時間蓄尿し尿量を記入 してください。
2114	アンモニア 3C040-0000-022-271	EDTA-2Na 血漿 1.0	7	血漿 凍結	1~2	50 生化I	アンモニアガス・ BCG比色法	140以下 μg/dL	採血後直ちに氷冷し、10分後 に遠心して上清を凍結保存	【高値】重症肝障害・肝脳症・尿毒症 先天性尿素サイクル酵素欠損症 【低値】低蛋白食摂取時・腎不全・貧血
2668	シスタチンC 3C016-0000-023-062	血清 0.4	1	冷蔵	3~4	118 生化I	ラテックス凝集 比濁法	男 0.61~1.00 女 0.51~0.82 mg/L		【高値】腎不全 腎機能低下・尿毒症
2696	ペントシジン 3D110-0000-022-023	EDTA-2Na 血漿 0.5	7	血漿 凍結	15~19	118 生化I	ELISA	μg/mL	参考基準値 0.00915~0.0431 μg/mL	【高値】関節リウマチ 腎不全・腎機能障害・糖尿病

* 血液化学検査の包括 1回に採取した血液を用いて5項目以上の検査を行った場合
5~7項目：93点 8・9項目：99点 10項目以上：109点

※シスタチンCは、尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に3月に1回に限り算定できる。

ただし、ペントシジンを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※蛋白分画、総蛋白及びアルブミンを併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

※ペントシジンは、尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下(糖尿病性腎症によるものを除く。)が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる。

ただし、シスタチンCを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

◇尿酸の基準値は、日本痛風・核酸代謝学会「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」の定義に基づいたものです。

健常者における血清尿酸値の統計学的な分布範囲は、男:3.5~7.0mg/dL、女:2.0~6.0mg/dLです。